

子供達に”ふるさと”を・・・

真光寺川を清流にする会
世話人 山口拓郎

「真光寺村、広袴村、能ヶ谷村、大蔵村、このあたりは多摩丘陵の谷戸に一筋の清流が流れ、それに沿って田畑が広がり、まばらな集落が点在するのどかな農村地帯であった」幕末、八王子千人同心によって作成された新編武蔵風土記稿に200年前の村々の様子がそのように記されている。ちなみに85戸の農村だった大蔵村は3400軒の市街地へ変貌している。過日、土地の古老に「大蔵村の今昔」を聞く機会があった。大蔵小学校の校長を務められた須崎先生は子供達に”ふるさと”を与えたいとホテル復活の試みに取り組んでいらっしゃる。

{2月}

2月7日(木)エコ・タウン見学
厳寒の季節、2月度の例会は東京スーパーエコタウン見学となった。前日は雪だったが当日は抜けるような青空が広がっている。午前9時、りんかい線の東京テレポート駅に集合、参加者12名。環境整備公社の用意したバスで午前2社、午後1社を見学。

☆リサイクル・ピア
建設廃棄物処理。一日1000トンの廃材を機械設備により処理している。90%は再生されていると言う。

☆フューチャー・エコロジー
テレビ、エアコン等家電を処理。エアコンのフロン類は抜き取っている。基本的には人海戦術で大変な作業だ。

☆東京臨海リサイクルパワー
産廃プラスチック、医療廃棄物を処理。大規模新鋭施設で未だ余力があると言う。見学を終え屋上から埋め立て処分場を展望する。東京都にとって最終の処分場と言う。2時に現地解散。

2月8日(金)町田一中で出前講座

1年生を対象に出前講座の要請を受ける。1年は7クラスあり消防、清掃工場、障害者施設等の方々それぞれ1クラスずつ受け持つ。テーマは「町田の川」45分話し15分質疑応答をうける。熱心に聞いてくれて手応えを感じた。後日「達人帖新聞」と35名の感想文が送られてきた。夕方、魚民で一木会。

2月12日(火)鶴三小・研修報告会

鶴三小は選抜されて昨年から二年間にわたり道徳教育に取り組んでいる。その第三期の報告会。運営委員として招待を受ける。授業参観後体育館でクラス別検討会。横山先生担当の5年生「炭焼き」の話聞く。

2月21日(木)水サンプル採集

夜明けが次第に早くなってきた。薄明の6時20分に家を出る。気温2度。下堰親水から開戸親水へ太陽に向かって歩く。透視度は高い。広袴公園の楊には青サギが留まっているのが見えた。8時40分帰宅。

2月22日(金)高橋日出男さん一周忌
光陰矢の如し。逝って早や一年が経過した。高橋さんは共同学舎の共同墓地の大石の下に眠る。7名で墓参、華を手向ける。

{3月}

3月6日(木)「里親通信」印刷、発送
山本さんの都合悪く、午後2時から黒田さんと二人で印刷、封筒に入れる作業に取り組む。意外に手間取る。5時までかかり学校に配り終える。6時から魚民で一木会。

3月9日(日)清掃作業

快晴、気持ちのいい朝だ。今年初の清掃作業。9時30分、開戸親水に集合。手分けして作業に取りかかる。水は冷たいが早春の日差しが快い。さすがにゴミの量が多い。権現橋のたもとで多くのカードと学生証の入った財布を拾得。駅前の交番に届ける。

3月13日(木)水サンプル採集

6時に家を出る。清掃作業から日が経っていないのでゴミが少なく気持ちがいい。年末から進められていた開戸親水の工事がようやく完了した。鶴見川に数十本の石柱が打ち込まれてその上を伝って対岸へに渡れるようになった。少女が二人、犬を連れて渡っていた。広袴公園では小学生が父親と投球練習をしている。8時に帰宅。

3月24日(月)鶴三小・卒業式

今年も44名の児童が巣立って行く。一人一人が壇上で元気よく卒業の決意を陳べ、校長先生から卒業証書を受け取る。少年少

女達はこの日のことは一生忘れることはないだろう。逞しく人生に立ち向かってほしいと祈らずにおれなかった。

3月25日(火)鶴三小・運営協議会
委員から「最近明るくあいさつをする子供達が増えてきた」と意見が出された。

3月29日「大蔵村の今昔」座談会

最近、大蔵町では町内会創立50周年を記念して町誌「わが町一大蔵」を出版された。その編集に携わった土地の古老にお集まり頂いて座談会を開催した。会場は築百二十年の須崎家のお座敷をお借りした。須崎家は四百年この土地に定住してきた旧家である。須崎先生は初代大蔵小学校校長、86歳の現在もなお矍鑠とされ微塵の衰えも感させない。若い日には零戦の勇士として活躍されたそうで古武士の風格がある。先生のお話「大蔵小は生徒が増え増築することになっています。ところが講中(昔から居住の住民)には小学生が一人もいなくなりまして。全部、新住民です。近所付き合いが希薄になってきています。そこで昨年第三日曜日にこの部屋を地域の人々に開放し自由におしゃべりする時間を持っています。話題の一つは子供達のことです。折角大蔵に生まれ育ちながら”ふるさと”を持たないのはかわいそうではないか。何か大蔵にふさわしい行事がしたいなど言うことで昨年井の花の阿弥陀堂の”花まつり”を開催しています。それと”ホテルの里”を復活させようと池を造りカワニナを育てているところです」



「井の花のホテルの池」

座談会終了後、ホテルの池へ案内して頂く。井の花堰の小高い丘のかげにその池があった。昔はこの辺りは無数のホテルが飛び交っていたという。昨年末、大量のカワニナの群生が確認されたそうのだ。「子供達とわくわくしながら夏ぐるぐるとのを待っていると」と微笑まれた。

{4月}

4月3日(木)「里親通信」印刷・配布
14時から支所で山本、黒田さんと印刷。学校、ライオンズクラブ等へ配達する。鶴の子公園の桜は満開だった。18時から魚民で一木会、南東建との打合せ内容等。

4月4日(金)「岡上地区」との連携打合せ
岸慶応教授からお話があり、鈴木岡上こども文化センター館長、堂前和光大教授と町田で会食する。開戸親水で子供達の催しをしたいとのこと。お互いに賛成!お互いに協力しあっていくことになった。新しい展開がありそうな予感がしてきた。

4月6日(日)井の花阿弥陀堂花まつり
春うらら、今年の桜は見事である。山本、黒田さんを「ホテル池」に案内する。井の花阿弥陀堂では地元の方々”花まつり”を祝っている。ご本尊の阿弥陀如来半臥像は室町初期の作と伝えられている。甘茶を振る舞われる。須崎邸では庭に莫産が敷かれ子供達が須崎先生の話に聞き入っている。大蔵の里が”ふるさと”としてよみがえりつつあることを実感した。

4月13日(日)清掃作業

雨天、4月にしては気温が低い。下堰親水に百名近い人々が群れている。「神奈川歩く会」の幟が立っている。折角の楽しみが生憎の天候で気の毒である。「東京のあすを創る協会」の菊池事務局長が遠路わざわざ来て下さる。雨天のせいか例月より人数が少ない。それぞれの持ち場に散り作業後は流れ解散とする。雨は本降りになってくる。おまけに気温が低い。作業二時間、急ぎ帰宅し熱い風呂に飛び込む。

4月24日(木)鶴三小に「報告書」持参

昨年の「町田ごみフェスタ」で4年生が「ごみ減量作戦」を発表してくれた。その報告書が出来たので出席者分65部を担当の松田先生へ届ける。清流の会の今年の行事計画をお話する。一層連携を密にしていこうことになった。大原校長は町田四小へご栄転、後任の高倉校長にご挨拶する。(この項おわり)